



ののいち子ども読書活動4か条

の びる子みんな大好き 読書の時間
の 一テレビ のネット 広がる家読家族
い のちと知をつなぐ 大人への読書
ち からを合わせて 楽しい図書ボランティア

ののいち子ども読書活動
4か条は、市子ども読書
活動推進計画の趣旨を親
しみやすい言葉で表現し
たものです。



読書手帳 始めませんか？

学びの杜ののいち カレードでは、読書の楽しさを知るきっかけとなるよう、読書手帳を配布しています。借りた本の記録を残して、自分だけのすてきな手帳を作つてみませんか。

1. 利用者カードを持つ希望者に提供します。
2. 読書手帳機で借りた本の記録をシールに打ち出し、読書手帳に貼つて本の記録を管理できます。

※シールは感熱紙なので熱いところに置かないでください

ののいち電子図書館

利用申込・利用方法

学びの杜ののいち カレードのサービスカウンターにて事前に申し込み、発行されるIDとパスワードでログインします

電話申し込み受付中！

当面の間、利用申し込みを特例として電話でも受け付けています。

- ・利用対象 市内在住で市立図書館の利用カードを持っている人
- ・受付時間 9:00～22:00（水曜日以外）

※電子図書館は24時間利用可能

ぜひ、この機会に電子図書館を活用ください！

問 学びの杜ののいち カレード

☎ 248-8099

ののいち電子図書館とは

パソコンやスマートフォンで読める電子書籍を貸し出すインターネット上の図書館です。家にいたまま約3,000冊の本から好きなものを借りて読むことができます。

※利用には事前登録が必要です

利用案内

- ・貸出点数 5点まで
- ・貸出期間 2週間（14日間）延長は1回のみ可
- ・予約点数 3点まで

子どもが読書に興味を持つには、周囲の大人が大きな役割を担います。小さな子への読み聞かせや発達段階に応じた本の準備はもちろん、家族で同じ本を読んで感想を言いあつたり（＝家読）、楽しそうに読書する様子を見せたりすることが大切です。まずは、自分が読書を楽しむことから始めましょう。

ま た、子どもの読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠かせません。野々市市では、子どもが読書を通じて豊かな人格を形成できる地域社会を創り出すことを目的に、令和2年3月に野々市市子ども読書活動推進計画（第3次）を策定しました。

子どもが読書に興味を持つには、周囲の大人が大きな役割を担います。小さな子への読み聞かせや発達段階に応じた本の準備はもちろん、家族で同じ本を読んで感想を言いあつたり（＝家読）、楽しそうに読書する様子を見せたりすることが大切です。まずは、自分が読書を楽しむことから始めましょう。

特集

本のある暮らし

皆さんの生活中本はありますか？お気に入りの喫茶店で文庫本を読むのが好きだったり、料理をするとき頼りにしているレシピ本があつたり、毎週欠かさず買っている漫画があつたり。4月に出された緊急事態宣言による外出自粛期間に、久々に小説を読んだという人もいるかもしれません。

本は、自分の知らないことを知ることが出来るのはもちろん、疑似的に行つたことのない場所に行けたり、現実では体験できないような経験が出来たり、色々な可能性を秘めています。新型コロナウィルス感染症の影響で自宅で過ごす時間が増えた今、暮らしに読書を取り入れて本の世界に飛び込みませんか。

広報野々市 2020. 8月号 6

7 広報野々市 2020. 8月号

中央公民館（にぎわいの里のいち カミーノ内）主事
門野 京子さん

- ①『100歳の精神科医がみつけた こころのさじ加減』
(高橋幸枝／著 飛鳥新社)
- ②大人
- ③タイトルに惹かれ手に取りました。しなやかでちょうど良い生き方のヒントが見つかる一冊です。「生き方」「暮らし」「健康」「人づき合い」「やさしさ」の5章に分けてさじ加減の大切さが記されています。100歳の著者が語る重みと温かみのある文章、書き留めておきたいなと思うことに幾つも出会えた素敵なお本です。
- ④気軽に立ち寄ってください。新刊や気になる本に出会えるかも！



布水中学校 司書（国立青少年教育振興機構認定 絵本専門士）
福田 はるかさん



- ①『じゃない!』(チョーヒカル／作 フレーベル館)
- ②中高生
- ③リアルなボディーペインティングを施すアーティストとして知られる作者の初めての写真絵本です。きゅうり、みかん、トマト…の正体は「思ってたんとちがう！」と叫びたくなる食べ物ばかり。その奇想天外な発想は、物事の捉え方の多様性に気づくきっかけにもなります。読み終わった後は勉強などで固くなった頭もスッキリ！
- ④絵本には想像力や表現力を高める力があります。みんなの夢をつかむ手がかりが絵本の中に隠れているかもしれません。

中央児童館 館長
北川 玉実さん

- ①『車のいろは空のいろ 白いぼうし』(あまんきみこ／著 ポプラ社)
- ②小学校低学年
- ③子どもの頃に読み、親になり読み聞かせ、懐かしく、もう一度手に取り次の世代に読みつなぎたい、そんな気持ちになる本です。運転手松井さんの空色のタクシーは不思議なお客さんが乗ります。「どちらまで？」走り出すと目の前はファンタジーな世界が広がり、しっぽを隠した人がいるかしらと思わず見回してしまいます。子どもと共に大人もじんわりと心が温かくなる場所が行き先です。
- ④中央児童館には「昔、読んだことがある」昭和な装丁の童話や新しい絵本など、さまざまな年齢の児童向け図書があり、貸し出しもできます。



にぎわいの里のいち
カミーノ 本町二丁目1番20号
☎ 248-0521



地区公民館・女性センター
学校図書館（自分が通う学校）
市立児童館・保育園・子育て支援センター

市内各学校では児童・生徒を対象にした貸し出しを行っています。読みたい本が見つからない時は司書に尋ねてみてください。

各施設へ確認ください。

市立児童館などが本の貸し出しをしています。貸し出しの有無は

おすすめの本 お気に入り



- ①本のタイトル
(著者・出版社)
②おすすめする年代
③本の紹介
おすすめポイント
④一言メッセージ

学びの杜のいち カレード 司書
瓜生 加菜子さん



- ①『生きてごらん、大丈夫』(佐々波幸子／著 かもがわ出版)
- ②子どもから大人まで
- ③皆さんは、好きだった本や心を支えてくれた本はありますか。この本では、子どもと本に携わる人々が、その想いやおすすめの本を紹介しています。つらい経験をした子どもに寄り添い希望を与えてくれる本、文化や価値観の違いを乗り越え認め合える心を育てる本など。本って素晴らしいなと改めて感じる1冊です。
- ④この世界にはすてきな本がたくさんあります。これからを生きていく子どもたちが、自分の力となるような本と出会う、そのお手伝いをカレードができたらと思います。

カレードサポートーズクラブ（図書館ボランティア）
臼井 ゆかりさん



- ①『この計画はひみつです』(ジョナ・ウインター／文 ジャネット・ウインター／絵 さくまゆみこ／訳 すずき出版)
- ②小学生
- ③1943年3月、世界中から優秀な科学者たちが集められ、秘密の場所で秘密の研究が始まります。何を作っているのでしょうか？科学者たちは他の国より、いち早くこの秘密の発明を完成させるために、たゆまぬ努力を2年間続けました。ついに完成したものは…。絵本ですが、たっぷりの「あとがき」もぜひ読んでください。
- ④カレードで行うボランティアのおはなし会にもぜひ来てください。

本が借りられる
市内の主要な施設

野々市市内には、本の貸し出しを行なう施設が数多くあります。

太平寺四丁目156番地
☎ 248-8099



▼ビンゴカードは児童コーナー・カウンターで配布。小学1～3年生用と4年生以上用があります

野々市市立図書館と市民学習センターが一つになった複合施設。読み聞かせなどの図書に関する催しに限らず、かがく実験教室・料理教室・陶芸教室などのイベントを定期的に開催。新たな本や新たな趣味に出会えます。約19万冊所蔵。また、8月末まで、子ども向けに「カレード de ビンゴ！」を実施しています。本を読んでビンゴを達成しましょう！ビンゴが完成するといいことがある…かも？